

日立浅井戸用非自動ポンプ

〔単相用〕 W-P125W形・W-P200W形・W-P400W形

〔3相用〕 W-K200W形・W-K750W形

このたびは日立浅井戸用非自動ポンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。



W-P125W・W-P200W・W-K200W



W-P400W・W-K750W

もくじ

取り扱いについて

	ページ
●安全上のご注意	2
●各部の名称と使いかた	4
●使用上のご注意	6
●故障かなと思ったら	6
●仕様	6
●保証とアフターサービス	7

据付工事について (販売店様・工事店様用)

	ページ
●据え付け前の確認	8
●据え付け時のご注意	9
●配管工事について	10
●配線工事について	11
●運転について	12
●防寒について	12



- 据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- ご購入のポンプの型式確認は、ポンプカバーの表示をご覧ください。

安全上のご注意

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。




■ここに示した注記事項は




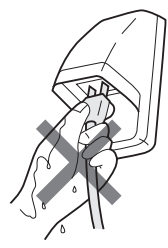

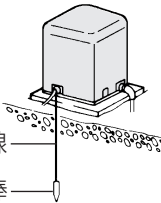

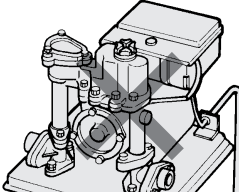
表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

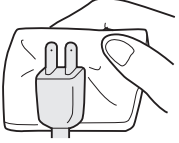
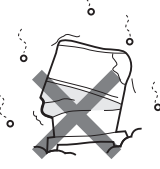
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

絵表示の例

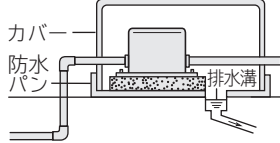
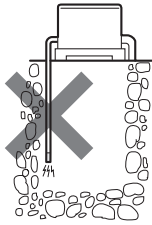

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

 警告	
 <p>分解したり、修理・改造しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電・けがの原因になります。 (修理は販売店などにご相談ください) 	 <p>お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る また、ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電やけがの原因になります。 
 <p>アース線を取り付け、専用の漏電遮断器を設置する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アース線を取り付けないと、漏電のとき感電することがあります。 アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。  <p>アース線 アース棒</p>	 <p>ポンプカバーを外したまま使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。 <p>※ポンプカバーを取り付ける際は、電源電線およびアース線を挟み込んで傷つけないように注意してください。</p> 

警告

<p>電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふく</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。 	<p>配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って、安全に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。
<p>動かなくなったり、煙が出ている、変なおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切って、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。 	<p>電源電線を傷つけない</p> <p>傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込む・たばねるなどしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源電線が破損し、発煙・発火の原因になります。
<p>電源プラグを抜くときは、きちんと電源プラグを持って抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電やショートして発火することがあります。 	<p>ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプ内部に物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●過熱による発煙・発火の原因になります。 

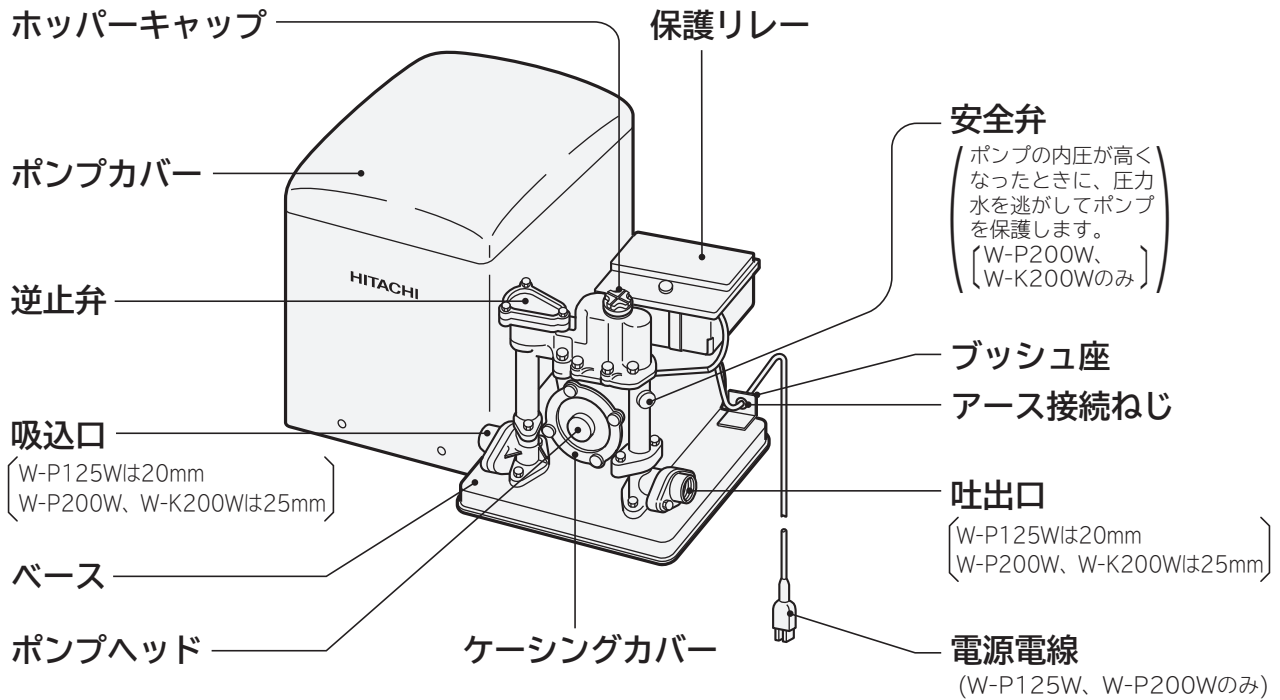
注意

<p>運転前後、運転中はポンプやモーターに触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高温になっていますので、やけどの原因になります。 	<p>製品の取り扱い時は、手袋をして作業を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●万一のけが防止のためです。
<p>防水処理・排水処理されていない床面に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。  <p>※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。 ※ポンプの寿命などで水漏れを起こした場合、発見が遅れると周囲が水浸しになり、大きな補償問題になる場合があります。</p>	<p>空運転（水のない状態での運転）はしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ポンプ内の水が熱湯になり、やけど、故障の原因になります。 
<p>清水以外の液体や温水(40℃以上)には使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●破損により、けがや感電の恐れがあります。 	<p>ポンプの上に物を載せたり、人が乗ったりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変形、脱落により、けがをすることがあります。
<p>据え付けは、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ご自分で据え付け工事をされ、不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。 	

各部の名称と使いかた

製品は検査の上お届けしておりますが、輸送中の振動などで破損や付属品の脱落などがある場合がありますので、念のため確認してください。

W-P125W形・W-P200W形・W-K200W形

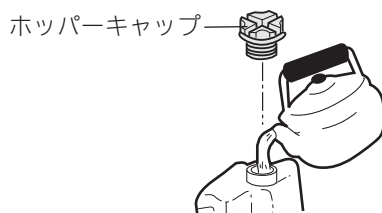


ホッパーキャップ

呼び水のしかた

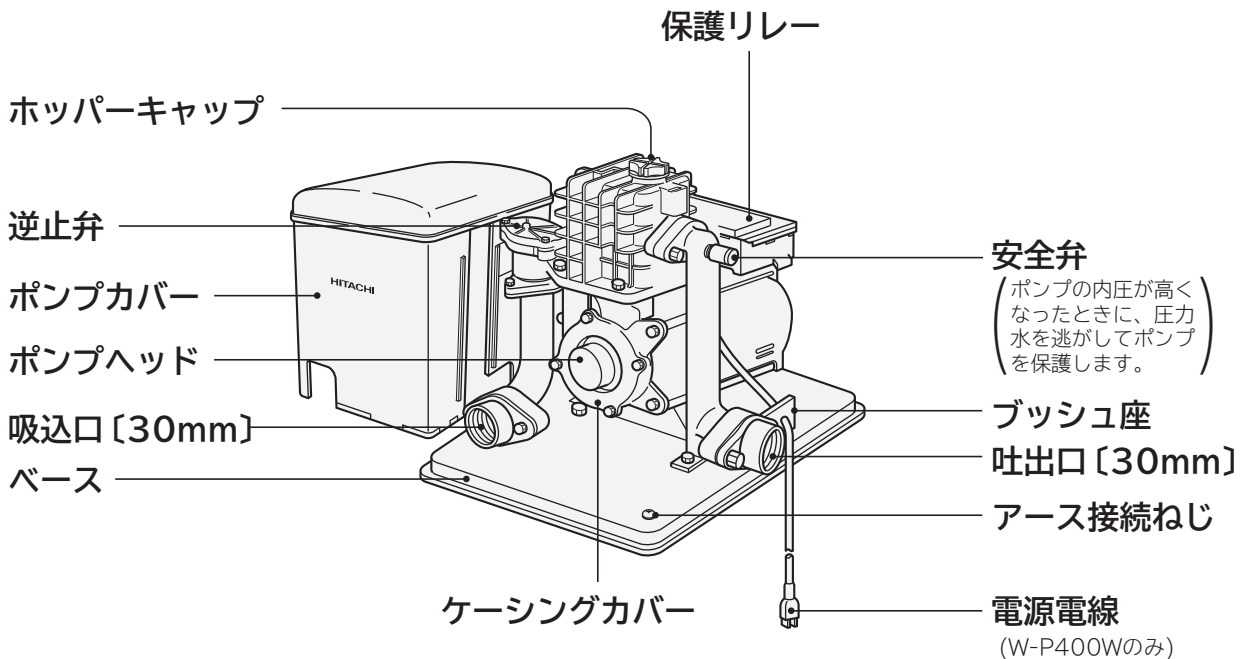
据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

- 電気部品に水がかからないように注意してください。



- 数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。

W-P400W形・W-K750W形



保護リレー

モーターが過負荷になったときにモーターを止めて保護します。

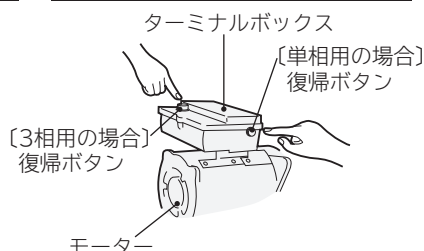
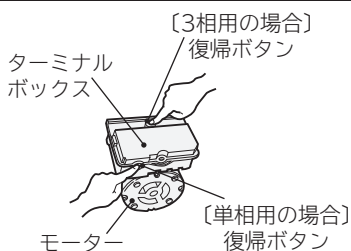
保護リレーが動作したとき

動作してから約10分後に復帰ボタンを押してください。

●再び動作するときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

W-P125W・W-P200W・W-K200W

W-P400W・W-K750W



付属品 (取り付けかたは〔据付工事について〕の項を参照ください)

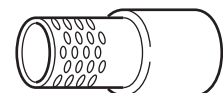
押しばね

吸上高さが3mより浅いとき、または押込揚程のときは、逆止弁の中に入れます。



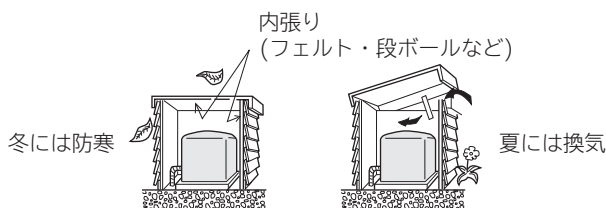
ストレーナー

吸込管の先端に接続します。



使用上のご注意

冬期には、凍結防止策を行ってください。
(詳細は12ページ参照)



3~4日間以上水を使用されなかった場合、ポンプ内部の水が濁っていることがあります。このようなときには、5~6分間水栓から水を流し、水がきれいになってからご使用ください。

ポンプの水抜き

冬期にポンプヘッドの中の水を抜いて、凍結を防ぎます。

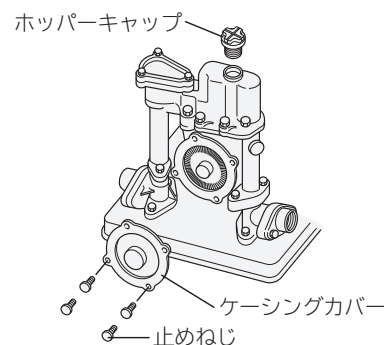
水抜きのしかた

- ① ポンプの電源を切ります。
- ② 吐き出し口側の水栓を1か所開きます。
- ③ ケーシングカバーを本体から外して水を抜きます。
- ④ 水が全部抜けましたら、ケーシングカバーを元どおりの位置に止めねじ(4本)で固定します。

ご注意

ケーシングカバーには、漏水防止のためのパッキン(Oリング)が装着されています。ケーシングカバー組込時、脱落・パッキンかみ込みがないよう注意してください。

・翌朝は、ホッパーキャップを外して「呼び水」を入れたのち運転させてください。



故障かなと思ったら

症状	点検するところ
ポンプが回らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●ブレーカー、ヒューズが切れていませんか。 ●漏電遮断器が動作していませんか。 ●保護リレーが動作していませんか。

仕様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

型式	W-P125W	W-P200W	W-K200W	W-P400W	W-K750W
モーター定格出力	125W	200W	200W	400W	750W
相・電圧	単相100V	単相100V	3相200V	単相100V	3相200V
周波数	50Hzまたは60Hzいずれか専用				
消費電力(50Hz/60Hz)	240W/240W	320W/320W	340W/340W	690W/690W	1100W/1160W
吸上高さ	8m	8m	8m	8m	7m
押上高さ	9m	18m	18m	24m	28m
全揚程	17m	26m	26m	32m	35m
揚水量(全揚程)	18L/min(12m)	24L/min(12m)	24L/min(12m)	40L/min(12m)	61L/min(12m)

保証とアフターサービス

保証について

この商品は保証書付きです。(別添)
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、食品や動植物の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

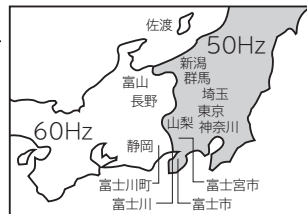
転居に伴い電源周波数が異なると、所定の性能が得られなかったり、故障の原因になりますので、製品の取り替えや調整が必要です。

1. 取り替えが必要な部品

- ポンプヘッド部

2. 取り替えに伴う費用

技術料・部品代
および出張料



沖縄県、佐渡は60Hz

修理を依頼されるときは

出張修理

6ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。※修理点検でポンプ以外に原因があった場合は、保証期間内でも有料になることがあります。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	浅井戸用非自動ポンプ
形名	W-P200W形など
製造番号	2000001など
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

★長年ご使用のポンプの点検を〔2～3年に一度点検を依頼してください(有料)〕



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 運転するとブレーカーや漏電遮断器が作動する。
- ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。
- コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れがする。(ポンプヘッド部、継ぎ手など)
- 焦げ臭い“におい”がする。
- 触るとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ってから販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理に関するご相談は エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間)9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は 家電ビジネス情報センターへ

TEL 0120-3121-19
FAX 0120-3121-34

(受付時間)9:00～17:30(月～土)
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませさせていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。

据付工事について (販売店様・工事店様用)

[工事をされる方へのお願い]

- 製品機能が十分発揮できるように、この「据付工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 据え付け後は試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

1 井戸の深さを調査する

- このポンプの吸上高さは、最大8m※です。
※750Wは、最大7mまでです。湧水時のことを考慮して正確に測定してください。

2 電源・周波数を確認する

- 使用するポンプの電源と合っているか確認してください。
単相用ポンプ……単相100V 3相用ポンプ……3相200V
- 周波数は、50Hzまたは60Hzいずれか専用ですから確認してください

3 据え付け場所を確認する

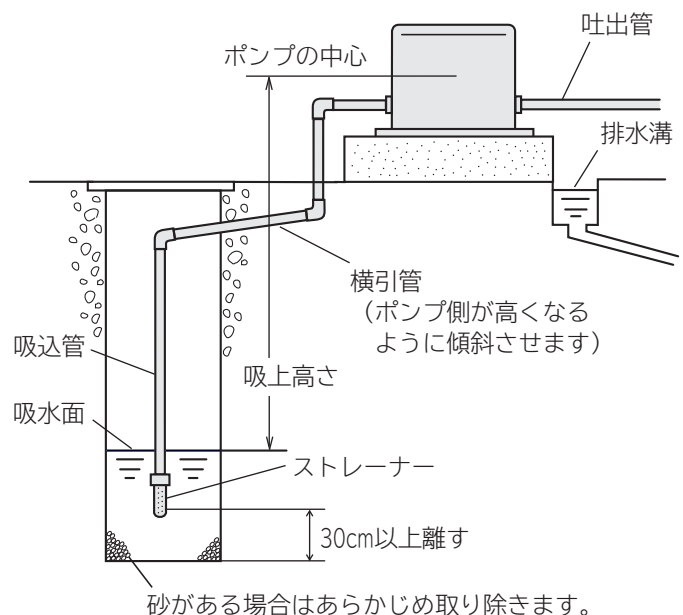
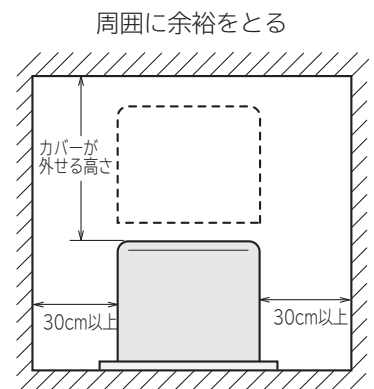
- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。
- ポンプはできるだけ井戸の近くに取り付けてください。
- 横引きの距離(井戸からポンプまで)は吸上高さ(吸水面からポンプの中心まで)によって制限されます。
吸上高さは、湧水時の水位低下を考慮して決めてください。
- 吸上高さによる横引管の長さ制限

吸上高さ(m)	8	7	6
横引き管の長さ(m)	3	14.5(3)	26(14.5)

()内はW-K750W形のと看で、吸上高さは7mまでです。

4 井戸の砂を確認する

- 新しく井戸を掘られた場合は、あらかじめ井戸の砂を十分取り除いてから配管してください
- 砂が多い場合は、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。(9ページ参照)



据え付け時のご注意

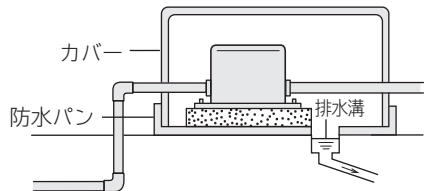
⚠ 注意



防水処理・排水処理されていない床面に設置しない

- 水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

防水パン・カバーなどで、噴き出した水が排水できるようにしてください。



※カバーは風通しがよい構造にしてください。
※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。

屋外で使用できますが、できるだけ風雨や直射日光が当たらないところに据え付けてください。

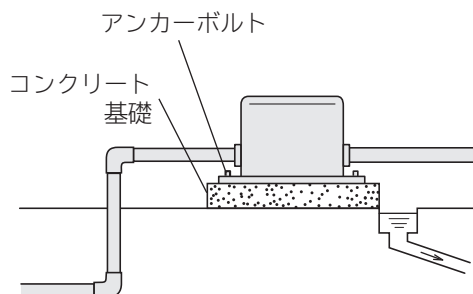
- 製品を長持ちさせるためです。



※屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋をつくってください。
(6ページ参照)

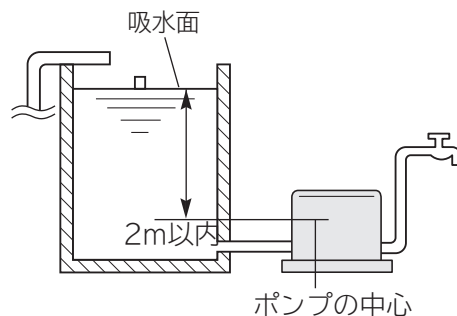
水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定してください。

基礎は沈下を防ぐために、コンクリートで作ることをお勧めします。



吸水面がポンプヘッドより高くなる時（押し込揚程のとき）は、2m以内にしてください。

※ウォーターハンマーなどにより、ポンプの部品が破損したり、漏水するのを防ぐためです。



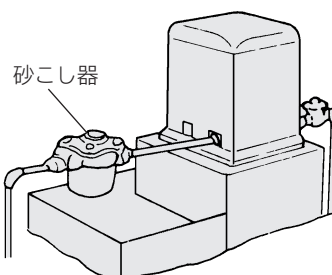
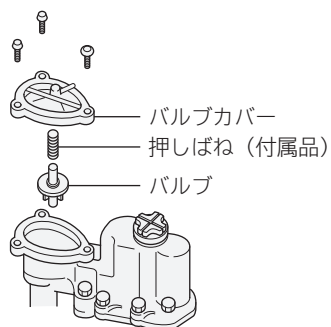
吸上高さが3mより浅いとき、または押し込揚程（2m以内）のときは逆止弁に押しばね(付属品)を入れてください。

砂を吸い上げやすい井戸には、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。

- 砂こし器はポンプの吸込側に取り付けてください。

※ポンプ内に砂が入り、砂かみや摩耗が大きくなるのを防ぐためです。

※ 逆止弁の働きを安定させるためです。



配管工事について

1 ポンプと配管の接続

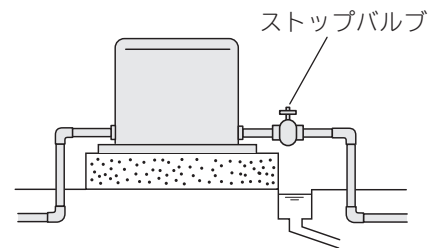
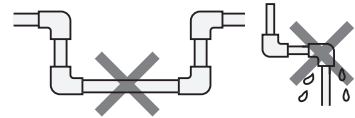
●使用する配管口径

※市販のバルブ用ソケットを用意して、下記配管口径の水道用硬質塩化ビニル管で接続してください。

型 式	配管口径
W-P125W	20mm
W-P200W、W-K200W	25mm
W-P400W、W-K750W	30mm

2 配管工事

- 水の抵抗を少なくするため、配管はできるだけ短く、曲げる個所を少なくしてください。
(性能低下、揚水不能の原因になります)
- 配管の継ぎ目は水漏れがないように行ってください。
(性能低下の原因になります)
- 吐出口には仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。
※点検・修理の際に必要です。
- ポンプ内に異物が混入しないよう吸込管に付属のストレーナーを取り付けてください。
(8ページ参照)



3 配管の互換性について

- 従来ポンプ(H形、J形、NS形、V形)との互換性はあります。
- 従来ポンプ(F形以前)との互換性はありません。
配管互換性を保つために
- ①W-P125W形の場合
吸込側または吐出側の配管を約20mm短くしてください。
- ②W-P200W・W-K200W形の場合
別途サービス部品が必要です。

部品名	サービス部品番号	数量
スパーサブミ(s)	W-P200H007	1

4 最高水栓の取り付け位置

- 配管や水栓の抵抗、ガス湯沸器やシャワーなどの必要最小圧力を考慮して器具や水栓の取り付け位置を決めてください。

配線工事について

⚠ 警告



配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全に行う

- 誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

1 アースと漏電遮断器を取り付けてください。

⚠ 警告



アースを取り付け、専用の漏電遮断器を設置する

- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

万一、漏電したときの感電事故を防ぐため、取り付けてください。(取り付けは有料です)
アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事(電気工事士が行います)が必要です。
工事の際は、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

● アース線の接続について

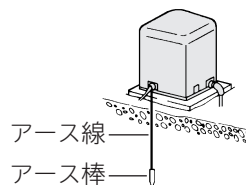
- ・ D種接地工事(第3種接地工事)をしてください。
- ・ 既設のアース線があるときは、D種接地(第3種接地)を満足していることを確認してから接地してください。

ご注意 次のようなところには、アース線を接続しないでください。(法令などで禁止)

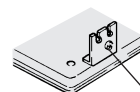
- ガス管、電話線、避雷針、水道管(水栓)

● 漏電遮断器について

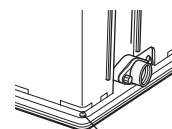
- ① 漏電遮断器は ⚡ マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で定格電流以上のものを電路に取り付けてください。
- ② 既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。



アース線
アース棒



アース接続ねじ
(125W、200W)



アース接続ねじ
(400W、750W)

2 電源電線の取り付け

● 単相用ポンプのとき

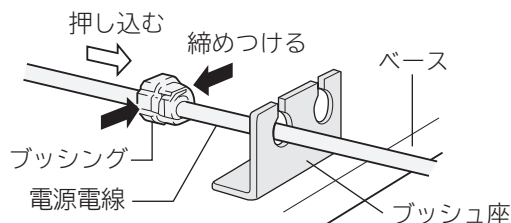
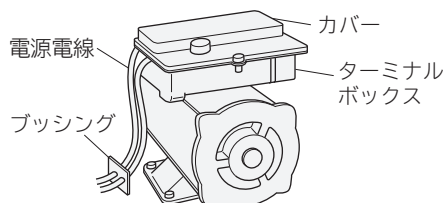
専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。
やむをえず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。

● 3相用ポンプのとき

電源電線は付属されていませんので、次のように結線してください。

- ① 電源電線は「600V 二種(耐熱)ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル HVCT0.75mm²」を使用してください。電圧降下を避けるため、できるだけ短くしてください。
- ② ポンプとの接続はターミナルボックス内の電源電線接続端子に接続してください。
 - 電源電線はターミナルボックスカバー裏面の配線図に従い、赤、白、黒を合わせて接続してください。
 - 端子部に張力がかからないよう付属のブッシングで固定してください。
 - 電源側には、ブレーカーを設け、ブレーカーの端子部に接続してください。

W-K200W・W-K750W形



運転について

1 試運転

●ポンプに呼び水をしないうちに運転することは禁物です。
(呼び水のしかたは、「各部の名称と使いかた」(4~5ページ)を参照してください)

●電源が入っていないことを確認してください。

①ホッパーキャップを外し、呼び水を十分入れたあと、ホッパーキャップをしっかりねじ込みます。

※押し込み配管のときは、水源から急激に流れ込む場合がありますのでご注意ください。

②吐出管側の水栓を1か所開きます。

③電源を入れてください。

※数分たっても揚水しない場合は、呼び水が不足している場合がありますから、電源をいったん「切」にして再び①項の呼び水をしてください。

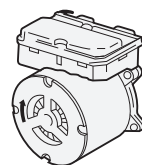
2 運転状態の確認

●異常なく運転を開始したら、バルブを開閉し、ポンプの運転状態や漏水箇所がないか確認してください。
また水栓を閉じたときに安全弁が動作して、圧力水が孔より出てくることを確認してください。

(W-P200W、W-K200W、W-P400W、W-K750Wの場合)

3 3相ポンプのとき

●モーターの回転方向とポンプヘッドに示された矢印の方向が一致しているか確認してください。



防寒について

暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがあるため、凍結防止策を行ってください。

※凍結による破損事故については責任を負えません。

1 配管

●横引き部分……地中に埋めてください。

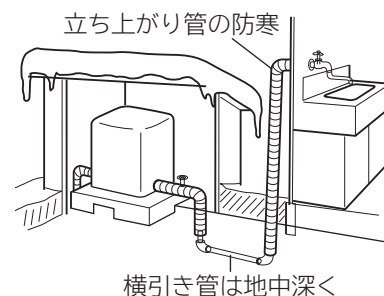
●地上の露出部分……保温材を使用してください。

寒冷地では市販の水道凍結防止帯をご利用ください。

2 ポンプ

屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。

小屋は夏も換気ができるようにしてください。



⚠ 注意



ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプ内部に物を入れない

●過熱による発煙・発火の原因になります。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話 () -

ご購入年月日

平成

年

月

日

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12